

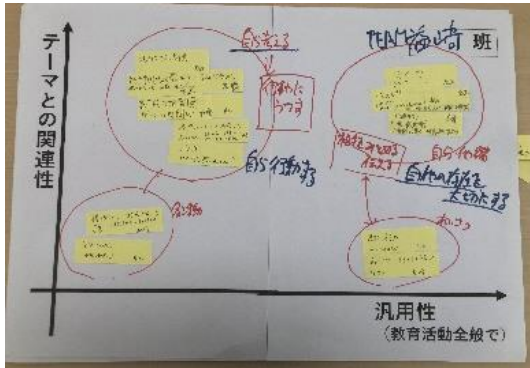
第2章

【すべての教職員が連携・協働し、目指す子供たちの姿を思い描く】実践例

小学校、中学校の教員と児童生徒で、共に作り上げる合志楓の森ルーブリック作成の取組

～ 合志市立合志楓の森小学校・合志楓の森中学校 ～

学校教育目標をもとに、児童生徒に身に付けさせたい力を全教職員で考え、目指す3つの力を設定した。小中学校9年間でどのような児童生徒を育てるのか、児童生徒の意見も反映し、その具体像をルーブリックという形で共有している。



① 9年間で育成を目指す 資質・能力の洗い出し



② 小中教職員による共通理解

身に付けさせたい力	やりぬく力 ・夢や目標を思い描く ・夢や目標に向かって努力する ・最後まで諦めずに挑戦する
場面	生活

方向性	自分自身	集団・全体
低学年	指示された自分のすべきことを行う。 【具体例】靴そろえ、筆箱の整理、トイレの使い方、時間割の用意、チャイムで行動する。 「挨拶」目を見る、元氣よく、正しい姿勢、立ち止まってのうち一つでもできる	指示された当番や係などの仕事を、責任を持って行う。
中学年	自分で判断して、自分のすべきことを行う。 【具体例】靴そろえ、筆箱の整理、トイレの使い方、時間割の用意、チャイムを意識して行動する 「挨拶」：目を見る、元氣よく、正しい姿勢、立ち止まって などができる。	自発的に当番や係の仕事を、責任感をもって行う。
高学年	他者との関わりを考えながら、自分のすべきことを行う。 【具体例】筆箱の整理、トイレの使い方、時間割の用意、時間を意識し前もって行動する 「挨拶」：目を見る、元氣よく、正しい姿勢、立ち止まってなどができる	学校全体のことを考え、自分の役割を自覚し、責任を持って取り組む。
中学1年	他者との関わりを考えながら、自分のすべきことを行う。 【具体例】身の回りの整理整頓、計画的な行動、時間を意識し前もって行動する 「挨拶」：目を見る、元氣よく、正しい姿勢、立ち止まって、場と状況に合わせた挨拶ができる	
中学3年	学校全体・社会全体のことを考えながら自分のすべきことができる。 【具体例】すべての生活面において自己管理ができています。(自律・自立)	係や当番の仕事を創意工夫しながら、1年間の見通しを持ってやりきる。

③ ルーブリックの作成（「やりぬく力」編）

学校教育目標を具現化するために、児童生徒に身に付けさせたい力を3つに整理（やりぬく力・伝える力・協働する力）し、小中学校の全教職員で共通理解を図る取組を行っています。

小中合同の校内研修においては、学習面・生活面の両面から9年間を見通し、児童生徒の目指す姿（具体像）をルーブリックにまとめました。

また、小学校の企画委員会、中学校の代議委員会においても、小学6年生、中学3年生で目指す自分たちの姿を検討し、児童生徒の言葉がルーブリックに反映できるようにしています。

さらに、12月の職員・児童生徒アンケートを基に評価・改善を図り、資質・能力の確かな育成につなげています。